

# 2014年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの6期目となった2014年度は、地域と鉄道の一層の結びつきが必要との認識のもと、交通環境の調査研究を進めると共に地域鉄道フォーラムの開催、各種催物の後援、協力等を行なってきました。

詳細については以下のとおりです。

## 1. 交通環境の調査研究

鉄道、バス等交通環境の現状に関する諸情報を収集するとともに、以下の調査研究を公表しました。

1. 地域鉄道フォーラム開催「女性の視点で語る鉄道の魅力・その活性化」：原 潔 交通公論〔14.07〕 p33～47
2. 地域鉄道評価についての考察とその課題 : 坂本成良 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p7～14
3. 鉄道復旧への取り組み～東日本大震災から3年～：入江 聡 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p15～38
4. 両備バスの歴史とお客様にご利用いただくための取り組み～西大寺鐵道から未来型バス「SOLARVE」まで～：豊田 賢 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p39～56
5. 今後の観光と交通～地域鉄道はワンストップサービスの軸：向後功作 地域交通を考える 6 〔11.25〕 p57～62
6. 上下分離方式による地域鉄道の再生：原 潔 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p63～76
7. フランス鉄道の覗き見：小島好己 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p77～82
8. 地域鉄道の安全の確保、活性化のための行政の取り組み：猪狩浩伸 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p83～88
9. 鉄道法律相談「認知症患者による事故」：小島好己 地域交通を考える 6 〔14.11〕 p89～95
10. 新幹線の歴史・政治と経営のダイナミズム：佐藤信之 中公新書 〔15.02〕
11. 視点ある想い連載：平野雄司 交通公論 〔14.04〕～〔15.03〕

## 2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

### (1) 主催活動

国土交通省鉄道局後援 第6回地域鉄道フォーラム

—女性の視点で語る鉄道の魅力・その活性化— の開催

期日：平成26年6月14日（土）13時00分～15時15分

場所：東武博物館 参加者：193名

・来賓挨拶 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 高原修司氏

・講演

「水間鉄道の魅力を発信中—会社更生法からの出発—」水間鉄道会長 関西佳子氏

・トーク「女性の視点で語る鉄道の魅力・その活性化」

コーディネーター：首都大学東京 観光科学域特任准教授 矢ヶ崎紀子氏

パネラー：

水間鉄道会長：関西佳子氏

津軽鉄道顧問：澁谷房子氏

東武鉄道 広報課長：高月京子氏

鉄道アーティスト：小倉沙耶氏

鉄道フォトライター：矢野直美氏

講演録は、会報「地域交通を考える」に収録すると共に、ホームページ等でも公開。

## (2) 後援・協力、参加等の活動

### 後援・協力

1. 粟生線の未来を考える市民の会主催「里山と粟生線を活かしたまちづくりシンポジウム」後援 平成26年4月28日～平成26年6月15日
2. 由利高原鉄道主催「第3回由利高原鉄道検定試験」後援 平成26年6月27日～平成26年8月24日
3. 「第3回全国高校生地方鉄道交流会」(一畑電車及び島根県青少年の家) 後援 平成26年8月15日～平成26年8月22日
4. 全国高等学校鉄道模型コンテスト実行委員会主催「第6回全国高等学校鉄道模型コンテスト」後援 平成26年6月1日～平成26年8月10日
5. 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会主催「明知鉄道公共交通シンポジウム」後援 平成26年5月15日～平成26年6月21日
6. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第22回企画展「仙山線交流電化試験ー日本の鉄道を新幹線へと導いた開発秘話ー」後援 平成26年6月7日～平成26年11月1日
7. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第23回企画展「むかし、秋保まで鉄道が走っていた。」後援 平成26年11月9日～平成27年3月7日
8. 東北福祉大学鉄道交流ステーション主催第24-25回企画展「鉄道の復興 その時、今、あした」後援 平成27年2月22日～平成27年11月7日
9. なすてつ那須&東北トラベルプロジェクト主催「那須ビール列車」後援 平成27年1月27日～平成27年3月14日
10. 若桜鉄道主催「若桜鉄道SL 走行社会実験」後援 平成27年2月16日～平成27年4月11日

### 参加・講演等

1. なすてつ(栃木・東北トラベルプロジェクト) 主催「なすてつ鉄道祭り」パネリスト: 鳥塚亮、真柄徹(平成26年4月5日)
2. 里山と粟生線を活かしたまちづくりシンポジウム 於三木市 パネリスト: 吉田千秋(平成26年6月15日)
3. 明知鉄道沿線地域公共交通シンポジウム パネリスト: 吉田千秋(平成26年6月21日)
4. 国土交通省鉄道局主催「地域鉄道のあり方に関する検討委員会」オブザーバー: 佐藤信之
5. 株式会社ライトレール主催交通ビジネス塾「地域鉄道再生のための上下分離方式」講師: 原 潔(平成26年7月31日)
6. TKC 税理士会銚子支部主催研修会「これからの銚子観光のあり方」講師: 向後功作(平成26年8月19日)
7. 運輸政策研究所主催「研究報告会2014年秋(第36回)」参加(平成26年11月25日)
8. 津軽鉄道サポーターズクラブ主催点火祭: 第一部座談会「地域活性化のポイント」講師: 向後功作(平成26年11月30日)
9. 千葉県生涯大学銚子校舎講義 「まち歩き De まちづくり」向後功作(平成26年12月3日)
10. 関東運輸局主催地域公共交通マイスター意見交換会参加: 鳥塚亮、吉田千秋、向後功作(平成26年12月3日) 運輸政策研究所主催の「第50回運輸政策セミナー」参加(平成27年2月6日)
11. 交通協力会主催「第7回交通シンポジウム」パネリスト: 澤田長二郎(平成27年2月25日)
12. 株式会社ライトレール主催交通ビジネス塾「地方創生に向けた若桜鉄道の挑戦」講師: 山田和昭(平成27年3月24日)

## 3. 収益事業

以下の収益事業を実施しました。

### (1) 地域鉄道支援事業

地域鉄道支援事業においては、地域鉄道支援のパンフレットを配布し、地域鉄道支援の必要性を広く広報しました。

- (2) 調査出版事業  
ひたちなか海浜鉄道湊線百年史の編纂を行ないました。

#### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> を使って法人運営に関する告知と地域交通に関する情報の提供を行いました。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道関係諸情報を収集するとともに会員あてメールで配信を行いました。

③情報共有と会員の交流を目的とした一般社団法人交通環境整備ネットワークの Facebook ページを開設しました。

(2) 会報の発行

交通環境の調査研究論文のほか地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第6号を平成27年11月に発行しました。

(3) 鉄道ジャーナル誌に法人活動等掲載

当法人並びに会員の活動を紹介する「ecotran 通信」欄を毎月鉄道ジャーナル誌に掲載しました。

#### 5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 平成26年6月14日(土) 11時～12時

場所 東武博物館ホール

出席者及び委任状及び賛成議決個数 69 個 (総社員数 116)

報告承認事項

2013年度事業報告の件

2013年度決算報告の件

2014年度事業計画の件

2014年度収支予算書の件

事務局からそれぞれの内容を説明し、2013年度事業報告及び2013年度決算報告については、監事を代表して唐崎監事から正しく事実と認める旨の監査結果報告の後、会場に一括承認を願ったところ、満場一致で承認がされました。

(2) 理事会

①平成26年6月14日(土)

地域鉄道フォーラムの進行について

②平成26年11月19日(水)

会報の作成について、湊線百年史の作成について、地域鉄道フォーラムのテーマについて、ほか

③平成27年3月26日(木)

2014年度事業報告書(案)、2014年度決算報告書(案)、2015年度事業計画及び収支予算(案)、理事・監事の選任について、総会・地域鉄道フォーラムの開催について、ほか

(3) 会員数

平成27年3月31日現在

会員数 130名

# 2014年度 決算報告書

(第6期：2014年4月1日～ 2015年3月31日)

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク



## 事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業費							
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	60,000	67,656			67,656	△ 7,656	ポスター等
(2)会報の作成	75,000	76,670			76,670	△ 1,670	
(3)地域鉄道支援事業	40,000		5,965		5,965	34,035	
(4)調査出版事業	200,000		1,737,668		1,737,668	△ 1,537,668	
事業費計	375,000	144,326	1,743,633		1,887,959	△ 1,512,959	
2. 管理費							
(1)会議費	20,000	10,420			10,420	9,580	理事会等
(2)諸会費	10,000	0			0	10,000	
(3)旅費交通費	25,000	30,000			30,000	△ 5,000	
(4)通信費	20,000	18,284			18,284	1,716	郵便、宅配便
(5)什器備品費	0				0	0	
(6)事務用消耗品費	35,000	19,784			19,784	15,216	
(7)新聞図書費	30,000	30,616			30,616	△ 616	
(8)委託費	0				0	0	
(9)雑費	5,000	11,257			11,257	△ 6,257	見舞、手数料
(10)租税公課	105,000	0	137,400		137,400	△ 32,400	法人税等
管理費計	250,000	120,361	137,400		257,761	△ 7,761	
3. 他会計への繰出額	50,000		50,000		50,000		
事業活動費計	625,000	264,687	1,931,033		2,195,720	△ 1,570,720	

### 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲                      資金の範囲は、現金預金額の範囲内
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	967,703	1,227,762
未収入金	0	0
前払費用		0
仮払金	0	0
資産 a	967,703	1,227,762
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	94,100	137,400
前受金	18,000	29,000
負債 b	112,100	166,400
繰越収支差額 a-b	855,603	1,061,362

# 貸借対照表

(2015年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	826,718	401,044		1,227,762	967,703	260,059	
未収入金	0	0		0	0	0	
前払費用	0	0		0	0	0	
仮払金	0	0		0	0	0	
流動資産合計	826,718	401,044		1,227,762	967,703	260,059	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	826,718	401,044		1,227,762	967,703	260,059	
2. 負債の部							
(1) 流動負債							
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用	0	0		0	0	0	
未払金	0	137,400		137,400	94,100	43,300	法人税等
前受金	29,000	0		29,000	18,000	11,000	次年度会費前受け
負債合計	29,000	137,400		166,400	112,100	54,300	
3. 正味財産の部							
基金	700,000	0		700,000	700,000	0	
一般正味財産	97,718	263,644		361,362	155,603	205,759	
正味財産合計	797,718	263,644		1,061,362	855,603	205,759	
負債及び正味財産合計	826,718	401,044		1,227,762	967,703	260,059	

## 正味財産増減計算書

(第6期: 2014年4月1日～ 2015年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	700,000			700,000	650,000	50,000	
基金期末残高	700,000			700,000	700,000	0	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	6,000	0		6,000	15,000	△ 9,000	
受取年会費	236,000	0		236,000	240,000	△ 4,000	
事業収益	0	2,099,352		2,099,352	531,110	1,568,242	
受取寄付金	5,000	0		5,000	4,000	1,000	
雑収入等	4,893	234		5,127	49,844	△ 44,717	
他会計からの繰入額	50,000	0		50,000	50,000	0	
経常収益合計	301,893	2,099,586		2,401,479	889,954	1,511,525	
(2) 経常費用							
事業費	144,326	1,743,633		1,887,959	505,153	1,382,806	
管理費	120,361	137,400		257,761	268,958	△ 11,197	
他会計への繰出額	0	50,000		50,000	50,000	0	
経常費用計	264,687	1,931,033		2,195,720	824,111	1,371,609	
当期経常増減額	37,206	168,553		205,759	65,843	139,916	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	37,206	168,553		205,759	65,843	139,916	
一般正味財産期首残高	60,512	95,091		155,603	89,760	65,843	
一般正味財産期末残高	97,718	263,644		361,362	155,603	205,759	
正味財産合計	797,718	263,644		1,061,362	855,603	205,759	

財務諸表に対する注記

### 重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日付け内閣府公益法人認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。



2015年 5 月 12 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク  
代表理事 佐藤信之 殿

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

監 事 唐崎好彦 ⑩

監 事 小島好己 ⑩

監 査 報 告 書  
(第6期: 2014年4月1日～ 2015年3月31日)

私は、2014年4月1日から2015年3月31日までの第6期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

# 2015年度 事業計画

## 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

### 1. 基本方針

地域鉄道を守ることは、沿線地域の足が確保されることにとどまらず、地域のコミュニティやその地域で培ってきた伝統・文化を守ることにもなります。

そのためには沿線地域との連携のもとで地域鉄道と沿線の地域が共に活性化される必要があります。

このため、一般社団法人交通環境整備ネットワークにおいては、地域鉄道とそれととりまく交通環境の調査研究並びに整備を推進します。

### 2. 交通環境の調査研究

地域鉄道とそれととりまく交通環境に関する諸情報を収集し、歴史的背景やその運営方策についての調査研究を継続して行うほか、都市鉄道、幹線鉄道、コミュニティバス等についても継続調査を実施する予定です。

調査研究の成果については会報や出版物等を通じて広く公表を行います。

### 3. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

交通環境の整備に資するため、地域鉄道フォーラム等の主催事業を開催します。

また、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等が行う交通環境整備に資する諸活動を応援、協力、後援を行います。

地域鉄道フォーラム「暮らしと鉄道」－使いやすく安心安全な地域鉄道を目指して－を以下のとおり開催します。

期 日：平成 27 年 6 月 13 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人 200 円、小人 100 円が必要です。

内容：

交通政策基本法に基づき、我が国の今後の交通政策の道しるべとなる交通政策基本計画が決定しました。

この交通政策基本計画は、国民にとって一番身近な計画です。

そこで、私たちの暮らしに密着した鉄道と計画の意図するところは何か、使いやすく安心安全な鉄道のあり方を考えます。

(プログラム)

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 大石英一郎 氏

2. 基調講演 「交通政策基本計画と鉄道」  
国土交通省総合政策局公共交通政策部参事官 岩城宏幸 氏

3. トークセッション「使いやすく、安全な地域鉄道を目指して」

－交通政策基本計画を踏まえてトークを展開－

コーディネーター／愛知学泉大学現代マネジメント学部講師 田中 人 氏

わたらせ渓谷鐵道株式会社 社長 樺澤 豊 氏

江ノ島電鉄株式会社 相談役 深谷研二 氏

国土交通省鉄道局旅客輸送業務監理室課長補佐 猪狩浩伸 氏

東京神谷町綜合法律事務所弁護士 小島好己 氏

このほか、鉄道茶論、セミナートレイン等の開催を検討し、決定次第ホームページや

インターネットメールによってお知らせいたします。

#### 4. 収益事業

(1) 地域鉄道支援

地域鉄道事業を支援するため、アドバイザーチームを編成して支援体制を整え、地方公共団体等を対象とした地域鉄道講座の開設を進めます。

(2) 調査出版

湊線百年史を発行するとともに頒布を行ないます。

#### 5. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネットホームページ <http://ecotran.or.jp> (注) を使って情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集、メールによる情報配信を行なっていきます。

(注) 旧ホームページ <http://www.ecotran.org> から移行を行ないます。8月末までは新旧両ホームページを稼働していますが、9月から完全移行を行ないます。

(2) 会報「地域交通を考える」の発行

交通環境調査研究の成果及び地域鉄道等の諸情報をまとめた会報「地域交通を考える」を発行します。

(3) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

当法人並びに会員の活動を紹介する記事を、「ecotran 通信」として鉄道ジャーナル誌に掲載し、広く一般の方に周知を行います。

#### 6. 当法人の発展のために

当法人発展のために、会員諸氏におきましても広報活動をお願いします。

##### 会費の納入のお願い

平成27年度(平成27年4月~平成28年3月)会費2,000円を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

口座名称(カナ) シヤ) コウツウカンキョウセイビネットワーク

銀行等からお振込みされる場合は、次をお願いします。

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)当座 0546398

2015年度 収支予算書

単位:円

項 目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	10,000			10,000	15,000
②受取年会費	220,000			220,000	230,000
③事業収益		400,000		400,000	400,000
④受取寄付金					0
⑤雑収入等					0
⑥他会計からの繰入額	50,000			50,000	50,000
事業活動収入計	280,000	400,000		680,000	695,000
(2) 事業活動支出					
①事業費支出	135,000	240,000		375,000	375,000
②管理費支出	145,000	95,000		240,000	250,000
③他会計への繰出額	0	50,000		50,000	50,000
事業活動支出計	280,000	385,000		665,000	675,000
事業活動収支差額	0	15,000		15,000	20,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0		0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0		0	0
4. 予備費支出	20,000	0		15,000	20,000
当期収支差額	△ 20,000	15,000		0	0
前期繰越収支差額	797,718	263,644		1,061,362	855,603
次期繰越収支差額	777,718	278,644		1,056,362	855,603

事業活動支出の内訳

単位:円

項 目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	60,000			60,000	30,000
(2)会報の作成	75,000			75,000	75,000
(3)地域鉄道支援・調査出版事業		240,000		240,000	290,000
事業費計	135,000	240,000		375,000	395,000
2. 管理費					
(1)会議費	10,000			10,000	10,000
(2)諸会費	10,000			10,000	10,000
(3)旅費交通費	25,000			25,000	25,000
(4)通信費	25,000			25,000	15,000
(5)什器備品費					
(6)事務用消耗品費	30,000			30,000	40,000
(7)新聞図書費	30,000			30,000	10,000
(8)委託費					
(9)雑費	5,000			5,000	5,000
(10)租税公課	10,000	95,000		105,000	105,000
管理費計	145,000	95,000		240,000	220,000
3. 他会計への繰出額		50,000		50,000	0
事業活動費計	280,000	385,000		665,000	615,000

## 第1号議案 理事選任の件

理事全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては新たに選任をお願いいたします。

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	原 潔 (昭和23年9月28日)	運輸省、国土交通省を経て千葉都市モノレール運輸部長、同社取締役運輸事業本部長、同社安全統括管理者、日本民営鉄道協会総務広報部長、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を務める。鉄道史学会会員 平成21年3月より当法人専務理事(現在)
2	向後 功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鉄道次長、銚子市観光プロデューサー、銚子市行政アドバイザーを経て、株式会社観光交通プロデューサー取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスター、NHKラジオリポーター、放送大学非常勤講師、まちづくり活動を主宰 平成21年3月より当法人常務理事(現在)
3	吉田 千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鉄道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスターを務める。 平成21年3月 当法人理事 平成22年7月より当法人常務理事(現在)
4	齋藤 実 (昭和25年9月29日)	運輸省、日本鉄道建設公団、運輸施設整備事業団、国土交通省を経て、東武鉄道株式会社鉄道事業本部計画管理部参事役 平成21年3月より当法人理事(現在)
5	田中 人 (昭和43年6月23日)	早稲田大学助手、現在亜細亜大学、早稲田大学、立教大学、慶應義塾大学講師を経て愛知学泉大学現代マネジメント学部講師 社会学・社会哲学(コミュニティ論・現代文化論など) 平成21年3月より当法人理事(現在)
6	藤本 昌弘 (昭和44年4月19日)	鉄道等の乗車券全般にわたるデザインと印刷を手がけ、今日貴重となった硬券印刷において屈指の技術を有する。関東交通印刷株式会社代表取締役、平成25年6月より当法人理事(現在)
7 (新任)	唐崎好彦 (昭和29年10月1日)	日本鉄道建設公団入社、運輸省鉄道監督局、国際協力事業団、九州新幹線建設局、北陸新幹線第二建設局、鉄道・運輸機構広報課長、同機構監査室長業務・用地統括役等を経て同機構健康保険組合常務理事。平成23年6月より当法人監事(現在)

## 第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。

当法人の監事は任期4年となっており、唐崎好彦監事と小島好己監事の2名体制で執行して参りましたが、唐崎好彦監事が任期満了辞任となりますので、新たに選任をお願いします。

氏名 (生年月日)	略歴
入江 聡 (昭和40年3月1日)	船橋市役所入所、技術士(建設部門 都市及び地方計画)、総合旅行業務取扱管理者。 平成23年7月より当法人審議役(現在)

### 第 3 号議案 名誉会長の選任の件

本人からの申し出により今般理事を辞任することになりました佐藤信之氏を定款第 29 条に基づき、名誉会長に選任をお願いします。

名誉会長任期 1 期 2 年 平成 27 年度から 29 年度

氏 名 (生年月日)	略 歴
きとうのぶゆき 佐藤信之  (昭和 31 年 2 月 1 日)	交通評論家、亜細亜大学講師（交通政策論、日本産業論）。公益事業学会・日本交通学会会員、鉄道サポーターネットワーク顧問 平成 21 年 3 月 当法人代表理事（現在）

（参考）一般社団法人交通環境整備ネットワーク定款

第 29 条 当法人に、名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、社員の中から、社員総会において任期を定めた上で選任する。

3 名誉会長は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用を支給することができる。